



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場会社名 昭和飛行機工業株式会社
コード番号 7404 URL <http://www.showa-aircraft.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒巻 三郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 白上 廣昭

TEL 042-541-2111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	15,441	0.7	1,087	13.0	827	28.1	511	83.2
23年3月期第3四半期	15,329	0.3	962	13.3	645	39.8	279	57.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 52百万円 (△80.8%) 23年3月期第3四半期 273百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	16.20	—
23年3月期第3四半期	8.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	57,977	24,729	42.7	782.69
23年3月期	60,263	24,871	41.3	787.10

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 24,729百万円 23年3月期 24,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	3.7	1,100	1.9	650	1.4	300	23.6	9.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	33,606,132 株	23年3月期	33,606,132 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	2,010,514 株	23年3月期	2,006,730 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	31,597,196 株	23年3月期3Q	31,614,146 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 当第3四半期の全社業績

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災から回復の兆しがみられた一方で、欧州の債務危機の拡大・深刻化や急激な円高進行等により、生産活動や輸出の伸びが減速し、先行き不透明感が一段と強まっております。

このような事業環境のもと、当第3四半期の連結業績は、売上高154億41百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益10億87百万円（前年同期比13.0%増）、経常利益8億27百万円（前年同期比28.1%増）、四半期純利益は5億11百万円（前年同期比83.2%増）となりました。

② セグメント別の概況

第1四半期連結会計期間より、社内の管理体制の変更に対応し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。変更点につきましては、11ページの「③報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照下さい。

[輸送用機器関連事業]

タンクローリーやバルク車などの特殊車両関係の受注が好調に推移したため、売上高は48億27百万円と前年同期比4億1百万円、9.1%の増収となったものの、セグメント損益は5億22百万円の損失（前年同期5億18百万円の損失）となりました。

[不動産賃貸事業]

新規賃貸物件が売上に寄与いたしました。商業施設において賃貸料収入が減少し、売上高は48億85百万円と前年同期比1億円、2.0%の減収、セグメント損益は16億38百万円の利益と前年同期比32百万円、1.9%の減益となりました。

[ホテル・スポーツ・レジャー事業]

東日本大震災直後に婚礼・宴会やゴルフコースの来客数が減少した影響が残り、売上高は34億49百万円と前年同期比1億53百万円、4.3%の減収、セグメント損益は1億円の損失（前年同期70百万円の損失）となりました。

[物販事業]

前年度より引き続き福祉・介護事業が好調であった一方で、主力の業務用サウナ事業や暖炉事業がふるわず、売上高は20億95百万円と前年同期比40百万円、1.9%の減収となりましたが、コスト削減等によりセグメント損益は5百万円の損失（前年同期62百万円の損失）となりました。

[その他事業]

売上高は、1億82百万円と前年同期比17百万円、10.7%の増収となり、セグメント損益は16百万円の利益と前年同期比0百万円、1.5%の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べて22億85百万円、3.8%減少し、579億77百万円となりました。

これは、受注増による仕掛品が4億55百万円増加したものの、借入金の返済等で現金及び預金が20億61百万円減少したことや、有形固定資産が減価償却等により10億97百万円減少したことなどによります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて21億43百万円、6.1%減少し、332億47百万円となりました。

これは、借入金の返済により長期借入金が流動と固定あわせて15億89百万円減少したことや、所有株式の時価下落や来年度以降の法人税率変更にもなう実効税率の変更等により繰延税金負債が5億82百万円減少したことなどによります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億42百万円、0.6%減少し、247億29百万円となりました。

これは、四半期純利益等により利益剰余金が3億18百万円増加したものの、所有株式の時価下落によりその他有価証券評価差額金が4億59百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間では、本日開示の「当社連結子会社における不正行為に関するお知らせ」のとおり特別損失の計上があったものの、営業利益、経常利益、当期純利益ともに予想を上回っております。しかし、第4四半期において織り込まれている費用の増加があるため、現段階では平成23年5月11日発表時の通期の業績予想について変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当する事項はありません。

(2) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,044	5,982
受取手形及び売掛金	3,256	3,360
商品及び製品	379	363
仕掛品	738	1,194
原材料及び貯蔵品	623	689
繰延税金資産	233	123
その他	255	311
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	13,526	12,020
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,909	27,804
機械装置及び運搬具（純額）	968	886
工具、器具及び備品（純額）	403	342
土地	12,557	12,699
その他（純額）	66	75
有形固定資産合計	42,905	41,807
無形固定資産		
のれん	199	163
その他	114	164
無形固定資産合計	313	328
投資その他の資産		
投資有価証券	2,982	3,118
その他	582	832
貸倒引当金	△47	△129
投資その他の資産合計	3,517	3,820
固定資産合計	46,736	45,957
資産合計	60,263	57,977

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,241	1,332
短期借入金	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	6,355	5,672
1年内償還予定の社債	15	3
未払法人税等	38	192
未払消費税等	63	57
賞与引当金	351	130
工事損失引当金	197	102
その他の引当金	10	10
その他	2,694	2,957
流動負債合計	11,967	11,460
固定負債		
長期借入金	11,273	10,367
受入敷金保証金	5,714	5,421
繰延税金負債	1,933	1,350
退職給付引当金	4,002	4,135
役員退職慰労引当金	222	201
その他	277	311
固定負債合計	23,423	21,787
負債合計	35,391	33,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,949	4,949
資本剰余金	7,648	7,648
利益剰余金	12,170	12,488
自己株式	△743	△745
株主資本合計	24,026	24,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	847	387
為替換算調整勘定	△1	—
その他の包括利益累計額合計	845	387
純資産合計	24,871	24,729
負債純資産合計	60,263	57,977

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	15,329	15,441
売上原価	11,444	11,223
売上総利益	3,885	4,217
販売費及び一般管理費	2,922	3,130
営業利益	962	1,087
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	68	57
その他	73	46
営業外収益合計	143	104
営業外費用		
支払利息	271	213
その他	188	150
営業外費用合計	459	364
経常利益	645	827
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	20
貸倒引当金戻入額	17	—
違約金収入	10	—
特別利益合計	28	20
特別損失		
固定資産除売却損	156	50
公共施設負担金償却額	9	2
投資有価証券評価損	—	1
貸倒引当金繰入額	—	98
その他	11	37
特別損失合計	176	189
税金等調整前四半期純利益	498	657
法人税、住民税及び事業税	199	275
法人税等調整額	19	△129
法人税等合計	218	145
少数株主損益調整前四半期純利益	279	511
四半期純利益	279	511

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	279	511
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△459
為替換算調整勘定	△0	—
その他の包括利益合計	△5	△459
四半期包括利益	273	52
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	273	52
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	輸送用機器関 連事業	不動産賃貸事 業	ホテル・スポ ーツ・レジヤ ー事業	物販事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,426	4,985	3,603	2,136	15,151	164	15,316
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	111	12	6	132	215	348
計	4,427	5,097	3,616	2,142	15,283	380	15,664
セグメント利益又は 損失(△)	△518	1,670	△70	△62	1,018	16	1,035

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業及び福祉介護事業を含んでおります。

② 報告セグメントの売上高の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	15,283
「その他」の区分の売上高	380
保証金受取家賃	13
セグメント間取引消去	△348
四半期連結損益計算書の売上高	15,329

③ 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,018
「その他」の区分の利益	16
保証金受取家賃	13
のれんの償却額	△34
工事損失引当金繰入額	△23
全社費用(注)	△28
四半期連結損益計算書の営業利益	962

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

④ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	輸送用機器関 連事業	不動産賃貸事 業	ホテル・スポ ーツ・レジヤ ー事業	物販事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,827	4,885	3,449	2,095	15,258	182	15,441
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	108	13	0	122	204	326
計	4,828	4,993	3,463	2,096	15,381	386	15,768
セグメント利益又は 損失(△)	△522	1,638	△100	△5	1,009	16	1,026

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業及び福祉介護事業を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,009
「その他」の区分の利益	16
のれんの償却額	△34
工事損失引当金戻入額	94
四半期連結損益計算書の営業利益	1,087

③ 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、社内の管理体制の変更に対応し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。

主な変更点は、全社共通営業費用の各事業区分への配賦は、関連が明確な費用については各セグメントに賦課し、それ以外の費用については、売上高、所有資産等を勘案した基準にておこなってまいりましたが、第1四半期連結会計期間から、関連が明確な費用については各セグメントに賦課し、それ以外の費用については、売上原価比を基準とした配賦方法に変更した点であります。

なお、従来の方法によって算出した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	輸送用機器関連事業	不動産賃貸事業	ホテル・スポーツ・レジャー事業	物販事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,827	4,871	3,449	2,095	15,245	182	15,427
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	108	13	0	122	204	326
計	4,828	4,980	3,463	2,096	15,367	386	15,754
セグメント利益又は損失(△)	△438	1,579	△113	△2	1,024	16	1,041

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業及び福祉介護事業を含んでおります。

報告セグメントの売上高の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	15,367
「その他」の区分の売上高	386
保証金受取家賃	13
セグメント間取引消去	△326
四半期連結損益計算書の売上高	15,441

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,024
「その他」の区分の利益	16
保証金受取家賃	13
のれんの償却額	△34
工事損失引当金戻入額	94
全社費用(注)	△28
四半期連結損益計算書の営業利益	1,087

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

④ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。